

1回目の体外受精で妊娠されました。

一般的には、当院での体外受精の妊娠率は30～35%くらいです。

今でも患者さんには情報発信なり、説明はしているのですが、それがきちんとお一人おひとりに伝わっているか、理解してもらつているかどうか、さらに入間性を深めてきちんと向き合つて

夫婦は、勉強会に出席してから1年後に体外受精をされました。排卵障害が見られる方でしたが、1年の間に経済的な準備含め、しっかりと治療向き合うことができ、結局、先日、体外受精をされたご

2割ぐらいの方が体外受精です。一般不妊治療からステップアップされていく患者さんが多いですね。ただ、なかなか急いで治療を進めないと妊娠が難しい方もいますから、その方にいかに理解納得していただくかが大切のは難しいですかね。

■体外受精をされる方は増えているのでしょうか？

しばらく推移をみていたいと思います。

■早めの治療ということへ

の理解も進んでいるのでしょうか？

不妊治療の話題は、いままでは体外受精や顕微授精など、技術的なことへ目が向くことが多かつたと思います。でも、女性の年齢的なことへの理解も進み、これからは、現在40歳前後の方の診療が大切な一方で、20代からの若い層での治療が早まるのではないかと

■これからはどのようなことに力を入れていきたいと思っていますか？

不妊治療に携わっていると、時として患者さんの人生がガラリと変わる瞬間に立ち合うことがあります。

「私は歳なので早く子どもがほしい」と口にするなど、意識が変わってきたのを感じます。

以前は結婚したけれど、ずっと子どもはつくらずに仕事を続けてきたという40歳前後の患者さんが多かったのですが、最近は30代前半の方が、初めて治療をスタートする方が大半です。メディアで不妊について取り上げられる機会が増えているのも影響しているのでしょうか。

「ちょっと相談したいことがあるので来た」と言われる方が多いですね。

「安心して治療を始めることが多いのです。

開院から二年！

クリニックを訪ねて

開院3年目

ドクターは今…

診療スタッフが、院長のもとで力を合わせて患者夫婦のために診療していく。当り前の姿ですが、仕事におごることなく、明日の診療に向かっていくことの大切さも見えてくるのが、今の生殖医療なのかもしれません。



三軒茶屋ウィメンズクリニック

保坂 猛 医師

Dr. Hosaka Takeshi

東京都世田谷区
三軒茶屋ウィメンズクリニック



院内はクリアなシルバーやシックなブラウン、白で明るい雰囲気です

13

12

保坂 猛先生プロフィール

聖マリアンナ医学大学卒業後、産婦人科勤務。
大田原赤十字病院勤務。
聖マリアンナ医学大学産婦人科医長、聖マリアンナ医学大学産婦人科非常勤講師、ファティリティクリニック東京勤務を経て、2011年2月2日三軒茶屋ウィメンズクリニック開院。
医学博士・日本産科婦人科学会認定、産婦人科専門医。日本生殖医学会認定生殖医療専門医、母体保護法指定医。

治療の流れ

- ① 初診・問診
- ② 自然周期
- ③ 排卵誘発
- ④ ART or 治療方針相談



三軒茶屋ウィメンズクリニック

03-5779-7155

<http://www.sangenjaya-wcl.com/>

ゆったりとリラックスしたお気持ちで、安心して診察・治療が受けられますように、色彩・照明・インテリアに配慮しております。



■開院当初と比べて変わったと感じることはどのようないですか？

以前は結婚したけれど、ずっと子どもはつくらずに仕事を続けてきたという40歳前後の患者さんが多かったのですが、最近は30代前半の方が、私は歳なので早く子どもがほしい」と口にするなど、意識が変わってきたのを感じます。

■一般婦人科としても大きな役目を持つての開院でしたが、現在はいかがですか？

上の年齢はもう少し下がっていきます。

■開院当初と比べて変わったと感じることはどのようないですか？

以前は結婚したけれど、ずっと子どもはつくらずに仕事を続けてきたという40歳前後の患者さんが多かったのですが、最近は30代前半の方が、私は歳なので早く子どもがほしい」と口にするなど、意識が変わってきたのを感じます。

■開院当初と比べて変わったと感じることはどのようないですか？

以前は結婚したけれど、ずっと子どもはつくらずに仕事を続けてきたという40歳前後の患者さんが多かったのですが、最近は30代前半の方が、私は歳なので早く子どもがほしい」と口にするなど、意識が変わってきたのを感じます。